

【畜産】の【高温】対策について

<4～5月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【酪農】

(1) 予想される被害状況

- ・乳牛の採食量低下
- ・乳牛の乳量低下
- ・乳牛の乳質の低下

(2) 事前対策

- ・牛舎改善（風とおしの確保、直射日光の遮断、牛舎屋根散水）
- ・飼養密度の最適化（密飼いしない）
- ・新鮮な飲水の確保（水圧の確保、水槽の清掃）
- ・牛舎ファンの活用（牛体に適切に風を当てる）
- ・牛体の毛刈り、汚れ落とし（熱放散の促進）
- ・ヒートストレスメーター（THI）の数値チェック、早期の暑熱対策実施
- ・畜舎カーテン等整備による雨の侵入防止

(3) 事後対策

- ・涼しい時間帯での飼料給与（早朝や夜間での給与）
- ・飼料の多回数給与（6～8回程度）
- ・油脂の利用（乾物摂取量低下によるエネルギー不足改善）
- ・重曹や酸化マグネシウムなどの緩衝材利用（ルーメンpH調整）
- ・ミネラル・ビタミンの充足（ナトリウム、カリウム等給与）